

| | | | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 解 答 | 1 (B) | 2 (B) | 3 (D) | 4 (C) | 5 (D) | 6 (B) |
| | 7 (A) | 8 (C) | 9 (A) | 10 (A) | 11 (B) | 12 (A) |
| | 13 (A) | 14 (B) | 15 (B) | 16 (D) | 17 (A) | 18 (B) |
| | 19 (B) | 20 (A) | | | | |

- ## 1. 「部屋を出るときは、忘れずに電気を消しておいてください」

- ▶ 選択肢には動詞leaveの様々な形が並んでいますので、動詞の形パターンであることが分かります。本問ではwhen () the roomが文法的に正しくなるような選択肢を選ぶ必要があります。

▶ (C)leaveを除いた残りの3つは文法的に入れることが可能ですが、文意から「(あなたが)部屋を出るとき」という意味になる(B)leavingが正解になります。

■接続詞の後の〈主語 + be動詞〉の省略

when, while, if, unless, thoughなどの接続詞に導かれる副詞節の中では〈主語 + be動詞〉が省略されることがある。ただしその場合、副詞中の主語は主節の主語と同一であることが多い。

[例] He broke his left leg **while** (he was) skiing in Canada.

(彼はカナダでスキーをしている時に左足を折った)

2. 「ケンが最後に故郷へ戻ってから、およそ5年が経つ」

- ▶ 選択肢の品詞を分類すると、(A)from[前置詞]、(B)since[前置詞/接続詞/副詞]、(C)before[前置詞/接続詞/副詞]、(D)while[接続詞]ですから、まずは空欄に入る語が英文中のどんな要素をつないでいるかに着目します。

► It's been about five years () Ken last returned to his home town.

空欄の語は主語(Ken)と動詞(returned)を含む後半の節と、前半の節(It's been about five years)をつないでいるので、()には節をつなぐ働きをする接続詞が入ると推測できます。接続詞の用法をもつ選択肢は(B)since、(C)before、(D)whileの3つがありますが、文意から(B)since(～して以来)が正解になります。

3. 「メアリーは勉強していなかったのに、その数学の試験に合格できた」

- 選択肢の品詞は、(A)although[接続詞]、(B)even[副詞]、(C)but[接続詞/前置詞]、(D)despite[前置詞]です。空欄のあとが、not having studied for it(それに向けて勉強しなかったこと)という名詞節になっているので、()には前置詞が入ると推測できます。

- ▶ 前置詞の用法をもつ選択肢は(C)but(～を除いて)と(D)despite(～にもかかわらず)ですが、前半の「数学の試験に合格した」とことと、後半の「勉強しなかった」とことが逆接の関係になっているので(D)despiteが正解になります。

4. 「私たちは今、中部国際空港に降り立ったところです。飛行機がゲートで完全に停止するまで、そのまま座ってお待ちください」

- ▶ 選択肢には動詞seat(～を座らせる)のさまざまな形が並んでいるので、動詞の形を決定するヒントを探す方針で解いていきます。

- ▶ seatは「～を座らせる」という意味の他動詞なので「着席する/座る」は**be seated**で表されます。また、『状態』の受動態であることを明確にする場合にはbe動詞の代わりに**remain**も用いられます。よって、正解は(C)seatedになります。

- ▶ remainのあとにto doの形は続かないで(A)to seatは不可。また、(B)remain to be seatedは「これから座らされる予定である」という意味になり、文意に合いません。remain doingは「～し続ける」という意味で、(D)remain seatingは「(誰か)を座らせ続ける」という意味になりますが、本問では「(誰か)」に当たる目的語がないので不可となります

□ remain seated 「座っている」

Please *remain seated* for a few minutes.

(しばらくの間座っていてください)

5. 「そのコンピューター説明書では、ユーザーが文書を5分ごとに保存することを勧めている」

 - ▶ 選択肢に動詞saveの変化した形が並ぶ動詞の形パターンです。本問では、**recommend that...**の構文を見た瞬間に「ある文法事項」を思い出せるかがポイントになります。
 - ▶ **suggest**や**recommend**など提案/要求/命令などを表す動詞の目的語となる**that**節中では、動詞の原形または「**should + 原形**」を用いますので、本問では原形である(D)saveが正解になります。

that節で原形または「should+原形」を用いる動詞

- suggest[propose] 「提案する」
- demand[require] 「要求する」
- insist 「(強く)要求する」
- order[command] 「命令する」
- advise 「忠告する」
- recommend 「勧める」

6. 「インフルエンザに罹ったようなので、医者の予約を入れた」
▶ 選択肢はすべて接続詞の用法をもつ語ですから、空欄前後の意味のつながりを考えて最適なものを選ぶ方針で解きます。

I have influenza, (接続詞) I've made an appointment to see the doctor.
私はインフルエンザに罹ったようだ 私は医者の予約を入れた
インフルエンザの症状を感じた結果、医者の予約をしたのですから、結論を導く接続詞である(B)so(それで、その結果)が正解です。

7. 「購入時にメンバーカードをお見せいただくと、5%の割引を受けられます」

 - ▶ 選択肢は動詞giveの過去分詞givenを軸にして、2つの態[受動態/能動態]と2つの時制[現在(完了)/過去]が混じったものになっています。このような場合は、問題文中に態と時制を決定するヒントを探す方針で解いていきましょう。
 - ▶ 文後半の、...every time they **make** a purchase and **show** their membership card. より、makeとshowが現在形であることから空欄も現在形となります。
 - ▶ 次に、空欄の態が能動態であるとすると、顧客(Customers)が割引を与える(give a 5% discount)こととなり、立場が逆になってしまいますから、態は受動態に決まります。以上のことから現在形/受動態である選択肢(A)are givenが正解になります。

8. 「週末に蜂に刺されたせいで、ドリーの手はひどく腫れていた」

 - ▶ 選択肢には動詞sting(～を針で刺す)の過去(分詞)形であるstungに関して、2つの態と2つの時制が混在していますので、態と時制を決定するヒントを探す方針で解きます。
 - ▶ 動詞stingは他動詞ですが、空欄直後には目的語が見当たらないので、空欄に入るべき語の態は受動態であると推測できます。選択肢の中で受動態になっているものは(C)had been stungただ一つなので、これが正解になります。

9. 「スネイプ教授は大学の他のどの教授よりも厳しい」

 - ▶ 選択肢はいずれも形容詞otherを含み、空欄直後のprofessor(教授)を修飾しています。空欄前のstricter thanと合わせて、比較級で最上級を表す内容となるような選択肢を選びましょう。
 - ▶ professorが単数であることから、複数名詞を修飾する(B)all other(他の～全て)は候補から外れます。(A)every other(他の全ての～)を選べば、「大学中のどの教授よりも」という最上級の内容を表せるので、これが正解になります。
 - ▶ (C)each other(お互い)は代名詞なので名詞professorを修飾できません。(D)some other(他のある～)を選ぶと、than以下が比較基準となるべき比較級の文章として意味が曖昧になってしまいます。

10. 「フライトに遅れていたら、私たちはどうしたことだろう」

 - ▶ 選択肢には動詞miss(～に乗り遅れる)のさまざまな時制が並んでいますので、英文中に時制を決定する要素を探す方針で解きましょう。

- ▶ 前半のWhat would we have done(私たちはどうしていたことだろう)は仮定法過去完了の帰結節と考えられるので、if節は**if S had done**の形になると推測できます。よって、正解は(A)had missedになります。
11. 「南山大学に入学したら、時間を最大限に活用することをお勧めします」
- ▶ 選択肢にはget、makeなどの基本動詞が並んでいます。本問では、空欄後のthe most of your timeを含めた「(動詞) the most of your time」が文脈に合うようなものを選びましょう。
 - ▶ 問題文は「南山大学に入学したら、あなたの時間を()することをお勧めします」という意味ですから、(B)makeを選んで **make the most of your time**とすれば、「あなたの時間を最大限に活用する」という意味になります。
 - **make the most of A** 「(有利な状況)を最大限に利用する」
Once you get the scholarship, you should *make the most of the chance.*
(ひとたび奨学金をもらったら、その機会を最大限に利用すべきだ)
12. 「ジョンが使うのは構わないと言ったから、店まで行くのにジョンの自転車を借りるよ」
- ▶ 選択肢には人間の心理や許可に関する動詞が並んでいます。ぱっと見でどれかのパターンにはまる感じがないので、深く悩まずに問題文をチェックしましょう。
 - ▶ 空欄後のif I used itは副詞節ですので、空欄には自動詞が入ると推測できます。よって、他動詞である(D)allowは候補から外れます。残った3つの選択肢から文意に最適な(A)mind(気にする、嫌だと思う)が正解になります。
13. 「リグリー教授は30分前にはここに来ているはずなのに。結局、今日は講義は行わないようだ」
- ▶ 選択肢はすべて他動詞の用法をもちますが、本問では目的語であるhis lecture(講義)がポイントになります。
 - ▶ 選択肢(B)を選び、teaching his lectureとすると、一見正しそうです。しかし、他動詞だからと言って、どんな名詞でも目的語に取れるわけではなく、teachがSVO文型でとる目的語はクラスや人など「教える対象」であり、教える内容ではありません。同様に、provide/speakの目的語は、**provide [人/場所] with [供給物]**、**speak [言語]**となります。よって、正解は(A)givingになります。
 - **give a lecture** 「講義をする」 (= **deliver[present] a lecture**)
She *gave a lecture* to her students on Keats.
(彼女は学生にキーツの講義をした)
14. 「エミールはその花瓶を床に落とし、粉々に碎けた」
- ▶ 選択肢はすべて「break+副詞[前置詞]」の句動詞です。意味はそれぞれ、**break apart**「粉々になる」、**break into** ~「壊れて～になる/～に押し入る/急に～し始める」、**break up**「(会議などが)終わる」、**break down**「(車・機械などが)故障する」です。
 - ▶ (A)と(B)に「壊れる」という意味があり、どちらも文意に合いますが、空欄直後のmany piecesを前置詞intoの目的語と考えれば辻褷が合うので、(B)broke intoが正解になります。
15. 「チャーリー、僕たちに加われよ。ハワイ旅行を計画してるんだ」
- ▶ 選択肢にはすべて「他動詞+us」の形です。目的語の属性と文意から最適なものを選びます。
 - ▶ 選択肢に用いられている動詞は、(A)**group**「(人・物など)を集める」、(B)**join**「(組織など)の一員になる/(人)に加わる」、(C)**gather**「(人・物など)を集める」、(D)**share**「(部屋・道具など)を共有する、分配する」という意味ですから、文意より(B)join usが正解になります。
16. 「君がアルバイトをしているのは知っているが、勉強に影響があつてはいけないよ」
- ▶ 選択肢にはセンター試験レベルの動詞が並んでいます。意味に類似性もなく、すべて他動詞なので文意に沿ったものを選びます。

- 選択肢はそれぞれ、(A)reject「～を拒絶する」、(B)neglect「～を怠る」、(C)infect「(病気などが)～に伝染する」、(D)affect「～に影響する」という意味です。
後半の...let **it** () your studiesにおけるit=a part-time jobですから「アルバイトが勉強に影響を及ぼさないように」という意味になる(D)affectを選べば最適です。

17. 「宿題は今度の金曜日までに先生に提出しなければなりません」

- 前間に続いて、選択肢には意味に類似性のない他動詞が並んでいます。空欄直後に目的語the homeworkがあるので、文意より「(宿題を)提出する」という意味をもつ動詞を選ぶと、正解は(A)submit(～を提出する)になります。
- 南山英語では宿題やレポートを提出するという内容の英文が頻出ですので、以下にまとめておきます。

| 「～を提出する」という意味の(句)動詞 |
|--|
| <input type="checkbox"/> hand [give] in ~ 「(手渡しで)(宿題・辞表など)を提出する」 |
| <input type="checkbox"/> send in ~ 「(郵送・メールで)～を提出する」 |
| <input type="checkbox"/> turn in ~ 「(宿題・辞表など)を提出する(手渡し・郵送どちらも可)」 |
| <input type="checkbox"/> submit A to B 「A(書類・案など)をBに提出する」 |
| <input type="checkbox"/> present A to B 「A(報告書など)をBに提出する」 |

18. 「正しい順番で数字が入力されないと、ドアのロックは開きません」

- 選択肢には意味の異なる名詞が並んでいるので、文意に合ったものを選ぶ方針で解きましょう。

実際に当てはめてみると、「**数字が適切な**[(A)~~selection~~「選択」(B)~~sequence~~「順序」(C)~~organization~~「組織」(D)~~system~~「制度/体系」]で入力されない限り、そのドアのロックは開きません」となり、(B)sequenceが正解であることがわかります。

unless ~ 「～でない限り (=except that ~)/もし～でなければ (=if ... not)」

The laundry won't dry quickly unless it's sunny.

= The laundry won't dry quickly if it is not sunny.

(晴れていないと洗濯物はすぐに乾かない)

19. 「パトカーが目に入ると、泥棒たちは逃げ出した」

- 選択肢には中学レベルの基本単語が並んでいます。本問は、空欄直後のsight of ~につながるコロケーションをもつ単語を選ぶ方針で解きます。
- catch sight of ~で「～を見つける」というイディオムになるので、(B)caughtが正解になります。それ以外の選択肢はsight of ~につながりません。

catch[get, have] sight of ~ 「～を見つける」

I caught sight of land ahead of me.

(前方に陸地を見つけた)

20. 「今、大阪を出たら、何時に京都に着きますか？」

- 選択肢には「到着」の意味をもつ動詞が多く含まれていますが、空欄直後に目的語(Kyoto)があるので、他動詞を選べば良いとわかります。
選択肢の中で他動詞は(A)reach(～に到着する)ただ一つですので、これが正解になります。他の選択肢は前置詞を伴って、arrive at ~「～に着く」、get to ~「～に到着する」、go to ~「～に達する」のように用います。